

外郭団体ミッション遂行評価票

【令和3年度取組結果】

団体名	公益財団法人 北九州市学校給食協会
-----	-------------------

所管課	教育委員会 学校保健課
-----	-------------

団体に対するミッション
<p>①学校給食の食材調達において、確実な選定・検査を実施すると共に、関係機関との連絡調整をより緊密に行うことで、天候や社会状況の影響をより軽減し、食材を安定的に供給する。</p> <p>②学校給食で使用する食材については、地産地消の考え方にに基づき、まずは市内産、市内産でも確保しにくい場合は県内産、そして九州産、国内産の順に使用し、地産地消を推進する。</p>

行財政改革大綱における見直し内容
<p>今後も、市立小中学校・特別支援学校に、安全で安定的な学校給食用物資の調達に努めるとともに、地産地消の取組みを進めるなど、食育の推進を図る。</p> <p>また、職員個々の能力向上に努め、協会の機能が十分発揮されるよう、業務の充実・見直しを図っていくことにより、さらなる経費削減に努める。</p>

ミッションに基づく中期計画								
3～5年後に目指す状態	<p>食材調達において、確実な選定・検査を実施すると共に、関係機関との連絡調整をより緊密に行い、食材の安定的な供給を目指す。</p> <p>また、学校給食で使用する食材については、市内産、県内産、九州産、国内産の順に使用し、地産地消を推進する。</p>							
主な成果指標	年度ごとの目標及び実績（太枠は最終目標年度）							
	H29	H30	R1	R2	R3		R4	R5
	実績	実績	実績	実績	目標	実績	目標	目標
重大事故による給食の提供中止	0件	0件	0件	0件	0件	0件		
地場産物の使用割合（品目比ベース）	38.1%	39.0%	42.1%	42.5%	前年比増	35.7%		
地場産物の使用割合（重量比ベース）	13.0%	19.8%	18.7%	20.4%	前年比増	19.8%		

ミッションの遂行状況の評価（令和3年度）			
団体における評価	<p>食材の選定・検査を適切に実施し、重大な事故を招くことなく、安定的に食材供給を行うことができた。</p> <p>また、地場産物の使用割合については、前年度に比べ、品目比ではかなり下回り、重量比ベースでは少し下回った。</p> <p>ミッションは達成できなかった。</p>	市の評価	<p>令和3年度については、年間を通じて安定的な給食物資の調達を行ったといえるため、評価できる。</p> <p>しかしながら、地場産物に係る成果指標は達成できなかった。関係機関との連携を図りながら、地場産物の確保に取り組んでいく必要がある。</p>
今後の課題及び見直し内容（案）	<p>令和2年度は青果物を40品目使用し、うち市内産は17品目。令和3年度は42品目使用し市内産は15品目。天候や生産量の減少でナスと白ねぎが使用できなかった。これからも地産地消の推進を図るため、学校給食用物資地産地消推進協議会で検討し、品目や重量など市内産の拡大に努める。</p>	団体への改善指導内容（案）	<p>学校給食用物資地産地消推進協議会の場を活用するなど、生産者とより密な情報共有を行い、地場産物の使用割合増加に努めるよう指導していく。</p>

その他～「行財政改革大綱における見直し内容」の取組み状況	
見直しの分類	—
<p>安全で安定的な学校給食用物資の調達に努めるとともに、地産地消の取組みを進め、食育の推進を図っている。</p> <p>また、職員個々の能力向上に努め、協会の機能が十分発揮されるよう、業務の充実・見直しを図っている。なお、可能な限り、経費削減にも努めている。</p>	